



鉄印旅は楽しいよ (P.4,5 に記事)

枚方にゆかりの本  
(P.7 に記事)



- ✎ 言いたい放題! アッキー28号 (67)  
『目白詣で』
- ✎ STEMz マンガ文庫 蔵書紹介  
～番外編 そふえ、マンガライター辞めるってよ～
- ✎ 【鉄道+御朱印】=[鉄印] ～鉄印旅は、楽しいよ  
～伊勢鉄道～2024.8.13  
～北条鉄道～2024.8.23
- ✎ 今月の五行歌
- ✎ なんちゃって農業女子(40)
- ✎ 枚方にゆかりの本「おかあさん だいっきらい：  
って、言ってみたら 本当の声に気づいた」
- ✎ イベント紹介/会計報告/編集後記

「LIP編集局」

<https://love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL : 070-5653-6913 (18時以降)



夏休みや連休が終われば、職場はお土産の山。「どこも行かへんし、何も持ってこんで、ごめんね」と、お饅頭やパイをありがたくいだきながら、うらやましきMAXの私。どっか行きたいよ〜! 心のなかで吠える。

家族旅行は難しい我が家。残るは一人旅だが、一人で家に置いておけない上の子。鍵の管理が難しい下の子。夜勤の日以外は夕食はおうちでの夫。上の子をショートステイに預けたとしても、家をあけるための段取りはかなり困難だ。

「新しい体験が大切。借金してでも外に出て行け」と言っていた亡父。「結婚しても旅だけじゃ自由に行きたいよね」と友と語っていた私。なんでこんな羽目に。「行けるときに行かないよ」と笑っておどすヨガ友。いやん、そんなこと言われても、今も行けへんやん、私は〜!

しかし、翻って過去を見ると、新幹線十外泊が当たり前の日々が私にはあった。

今から四半世紀前。上の子Fが自閉症とわかった、4歳になる頃だ。2歳になった頃から親子教室に通い、障害児のための特別保育制度で保育所に入所していたのに、障害がはつきりしたときには、夫も私も大きなショックを受けた。

「Y先生に頼ろう」と夫は言った。Y先生は夫の信奉する、東京のW会の院長だった。獣医の資格を持ち実家の酒蔵のために醸造の研究をしていたY先生は、色覚異常を持つ身内のために独力で「通電療法」を開発。それは、両耳にヘッドホン様の器具をあて微弱電流を流し、周囲の細胞や神経を活性化、色覚異常の人がそれまで見えなかった「赤」や「青」が見えるようになるというものだった。夫は長く東京勤務だった頃、本でこのことを

言いたい放題! アッキー28号 (67)

『目白詣で』

知り、休日ごとに目白にあるW会に通い、何年もかかってそれまで見えなかった「青」が見えるようになったという。でもまだ完全でないというので、関西にUターンしてきてからも連休などにW会に行っていた。「通電療法」には冷え性など体調改善の効果もあるという。新大阪にできた支部に私も連れて行ってもらう、夫としばらく

さて、W会ではその頃能力改善の効果もある「通電療法」を、Sアカデミーと連携して、障害のある子のために提供しようとしているところだった。「Y先生に手紙を書いてくれ。我が子を救ってください」と。5月の連休前に夫にそう言われ手紙を書き、Y先生からOKが出た。



そうして我が家の「目白詣で」が始まった。私はその頃下の子を妊娠中で、安定期に入っていた。「子が生まれるまでに、なんとかFの『能力アップ』を進めたい」私たちは急いでいた。さて、治療という言葉は医事法の関係で使えない。トリートメントと言っことになっていた。そのトリートメントを、Fが初めてW会で受けたとき、わずか半時間だったが、大きな変化が現れた。それまで出ていた奇声がぴたりと止まった。名を呼んでも振り向くことがなかったのに、名前を呼ぶとくるりとこちらを向いた。すごい! 来てよかった! 近くに取っていたホテルに入り、私たちは喜びに浸っていた。「通電療法」には少々痛みが伴う。微弱電流の刺激を減じるために特別の溶液に浸した布をヘッドホンにあてて皮膚を保護するのだが、

それでもやはり痛い。だけど、やると気分がよくなる。ヨガをした後身体を中心からすっきりするような感覚。だから痛いなあと思いつつ耐えるわけだが、子どもの場合、特に障害を持つ我が子には意味もわからず、痛いから嫌と泣く。我慢してねと抱っこするのが私の役割だ。

5月の連休が終わりに家に戻ると、それから土曜日ごとに家族で東京へ。時には夫だけ日曜に家に戻り、私と子はホテルに留まり療法を受けにW会に通い、金曜夜に夫が合流、日曜日3人で家に帰るということもあった。療法を受けるのは他の人たちが来ない朝イチの時間。泣き叫ぶ子をなだめながら半時間を過ごす、その後はベビーカーで散歩したりして過ごした。

W会ではこの療法の良さを伝えてくださいというところで、本郷の女性会館で講演会を開き、私も「体験談」を語った。励まされ、見よう見まねでホームページをつくって、親の思いや「通電療法」の成果を次々アップした。旅費とホテル代に結婚前の貯えもつき込んで、まさに疾風怒涛の日々。「これで私は旅行運を使い果たしたか」「それでも悔いはない」と思ったのだった。

結局療法が嫌で泣き叫ぶ子を連れて行き続けることはできず、「目白詣で」は1年余りで終了。その後子らの発達のこともあり、夫婦仲が険悪になったこともあったが、なんとかそれも通り過ぎることができた。まあ、こんなところではやあないかという日々を、今は過している。

よかったやん、まあ。でもでも……。日帰りでもいい、どっか行きたい〜! と振り出しに戻る。

(著者プロフィール) パート勤務の主婦。自閉症を持つ成人した息子がいます。  
 “放課後クラブ『チャレンジ・キッズ』” 代表  
<https://ameblo.jp/challengekids81573/>

## STEMz マンガ文庫 蔵書紹介

## ～番外編 そふえ、マンガライター辞めるってよ～

少し前に『桐島、部活やめるってよ』というタイトルの映画があったので、もじってタイトルにしてみました。

辞めるというよりは、書く機会がないというのが正しいかもしれない。マンガライターのお仕事は2020年からしているのもう5年になるのですが、なかなかどうして、書くことを仕事にするって難しい。

最初は好き勝手に自分の好きな作品のレビューを書いてよかったのだけれど、編集プロダクションが変わり、編プロさんが委託を受けているクライアントさんのほしいコンテンツも変わり、ここ最近はタイトル指定のレビュー作成が多かった。

これがなかなか難しい。クライアントが求めている作品が、ほぼ初見で見える作品ばかりなのだ。作品自体は献本で読ませてもらえるので、作品を購入するのが大変ということではなく、あまり興味のない分野の作品でもレビューを作成しないとイケないというのが、私は苦手だったのだ。

世の中でライターとして仕事をしている人からしたら、「それは、書けなきゃだめなんじゃない?」と思うだろう。自分の興味のある範囲でしか書けないとしたら、それはライターとして失格なんだと思う。私もそう思う。

だからというわけではないけれど、書けそうな作品のレビューは納品してきた。でも、なんかしんどい。うまく書けない。そういうことを1年くらいやってきて、やっぱり向いてないなと思った。

マンガは好きだけど、どれでもいいってわけじゃない。レビューを書いてお金をもらうってことは、AIが書くような「感想文の優等生」以上のものを求められているし、その「感想文の優等生」以上のものを興味のない分野で求められると、とたんぽんコツになってしまう自分のふがいなさをしみじみと感じる、そんな1年だった。AIを使って、ある程度のことは書いてしまう。だからこそ、AIには書けない部分をひねり出すには、時間も、興味も、経験も足りなかったのだと思う。

私にとって好きな作品のレビューを書くこと

はラブレターに近い。「この作品のここが面白いからぜひ伝えたい!」と思うようになるまでに、私は意外にたくさんの時間をその作品と過ごしている。作品を隅から隅まで読んだり、作者のインタビューを探してみたりしてその作品の裏に何があるのかを様々な方向から探してみたりする。歴史やテクノロジーをテーマにした作品だったら、関連図書も読み、アマゾンのレビューを漁って、どんな視点でほかの人がその作品を読んでいるのかも参考にする。

そうやって、いろんな手掛かりを組み合わせ、最終的に「(巷ではこんな意見もあるけど)私はこのことを伝えたい」が、出てきたらラッキーだけど、出てこなかったとしても何とか記事にする。そんなスタイルで時間ばかりやたらかかる方法でレビューを書いてきた。それでもよかった。楽しかったし、出来上がったレビューは本当に宝物みたいで、時間がかかったことよりも、誰かに伝えられることがうれしかった…。そういうレビューをもうしばらく書いていない。

「もう、お終いにしよう」ようやくそう思った。Web記事の消費されかたからみても、こんなふうに書いているレビューなんて求められていない。そう思うと、マンガを題材にレビューを書くことは難しいとようやく踏ん切りがついたのでした。

このLIPで紹介してきたマンガも90作品を超えました。このコーナーも今回を最後にいったん終了としたいと思います。長い間、掲載していただき、本当にありがとうございます!

STEMzマンガ文庫は希望者が連絡を下さったときに開けるスタイルで細々と開いております。もし、機会がございましたら遊びに来てくださいね!

(みんなでつくる学童STEMs そふえ)  
[STEMz マンガ文庫]で検索!

【鉄道+御朱印】=[鉄印] ~鉄印旅は、楽しいよ②❤️~

## 【+青春 18 キップ】 ~伊勢鉄道~2024.8.13

【鉄印とは?】一言で表すと「御朱印の鉄道版」鉄印をもらうには、各社指定の窓口で乗車券を提示し、鉄印帳と記帳料(300円~)を係員に渡します。

まずはハードルの低い近場から、鉄印旅を、恐る恐る始めてみました❤️

この夏は前々から[青春 18 キップ旅がしたい]とっていました。独身の時はときどき青春 18 キップで旅をしていたのですが、仕事が忙しいとなかなかそんな余裕がなく、去年も[なんか思い付いたら、青春 18 キップを買おうかな]とは思っていたのですが、買わずじまいで…

今年は[買ってしまったら行くしかないのだから、まずは 18 キップを買ってみよう!]と思い立ち、発売日にもよりの駅で、青春 18 キップを入手しました。

そして、はて行き先は?ここで役立つ鉄印帳。18 キップで日帰りで行けるところに行ってみようと思立ち、まず目指すは【伊勢鉄道☆鈴鹿駅】

単純に距離が一番近いところを選びました(笑) NAVITIME は優秀で、なんと[青春 18 キップ]という選択肢があり、あとは最寄り駅と目的地を選べば、青春 18 キップでのルートを教えてください。

[ミジュマルトレイン]というラッピング電車もあるということで、それを狙って出発時間を選択したら、出発がほぼ始発になりました。まあ暑いし、早めにさくっと帰ってこようということで。

☆○駅→木津→加茂→亀山→河原田→(伊勢鉄道) 鈴鹿…と乗り継げば、伊勢鉄道の鉄印が貰えます(伊勢鉄道で鉄印がもらえるのは、鈴鹿駅のみです)

自宅最寄り駅は学研都市線ではあるものの、松井山手より木津方面に乗るのは久しぶりだろう…ということでワクワクしながらスタートです。列車の切り離しはしないのかなーと思いながら乗っていたら、結局切り離しなく木津に到着です。昔のおもかげはあまりなく、学研都市線沿線はなかなか都会になってました。なんなら私の最寄り駅が一番田んぼの真ん中かも f(^^);

しかし加茂から河原田までは、想像通りの単線気動車。きれいな川沿いや緑のなかをひたすら走る、乗っているだけで観光気分の列車です。外を見なが



ミジュマルトレイン

らここはミジュマルトレインのために、肅々と目的地を目指します。

そして、伊勢鉄道☆鈴鹿駅で鉄印ゲット。こちらの通常鉄印は、伊勢和紙に伊勢型紙の模様らしいです。と、ここにも桃太郎電鉄コラボの鉄印があったのでゲットしました。(基本鉄印帳一冊につき鉄印は1つしか買えませんが、違う図柄のものは購入できます。鉄道会社の収入にも貢献です!)

鈴鹿駅は、鈴鹿サーキットの最寄り駅らしいですが、ここからまだバスで向かうらしく、駅前にはほんとなにもありません。駅窓口がちいさな鉄道博物館っぽくなっていますので、少し見学しつつ、折り返しはお楽しみのみジュマルトレインです。

今のラッピング電車は外側だけでなく、中もしっかりラッピングされているので乗るのが楽しい❤️

伊勢鉄道沿線は、観光できそうなところを見つけられなかったのですが、帰りに【関宿】という東海道の宿場町があるとのこと。道の駅もあるみたいだし、そこくらいは観光して帰るか途中下車。しかし暑い! 今年の猛暑に耐えられず、さくっと歩いて(古民家の喫茶店はドアが空いていて、どうもエアコンが聞いている雰囲気なかった)ので駅のとなりの道の駅まで戻ってランチ。名物の味噌焼きうどんは美味しかったけど、何よりのごちそうはクーラーでした(笑)

暑さにやられて、そのあとまっすぐおうちに帰りましたとさ。ともあれ、往復通常料金は4400円のところ2410円+伊勢鉄道440円で旅ができて、二つ目の鉄印もゲットできたので大満足です。

18キップはあと4回使えるので、さて次はどこへいこうかな。(たなべみか)

【鉄道+御朱印】=[鉄印] ~鉄印旅は、楽しいよ③♡~

# 【+青春 18 キップ】 ~北条鉄道~2024.8.23

【北条鉄道】北条鉄道は、兵庫県小野市の粟生駅から兵庫県加西市の北条町駅までを全8駅13.6kmで結びます。

【コラボ鉄印】この度、北条鉄道のキャラクター「北条ふらわ」と井原鉄道のキャラクター「井原あかね」をモチーフにした記念デザイン鉄印を販売します。



## ③【+青春 18 キップ】~北条鉄道~2024.8.23

さて、青春 18 キップはまだあと 4 枚。次はどこに行こうかな?とを考えていたところ、青春 18 きっぷ旅に興味を持った友達が「次にいくとき誘って」というので、今回は一緒に旅することにしました。となると、ただ行って帰るのもだし、「楽しかった」と言わせたい!

そしてこの期間ならではのということもあり、兵庫県の北条鉄道に行ってきました。

私は学研都市線、友達は京阪でやって来て、京橋で合流。京橋→尼崎→加古川→粟生駅が、北条鉄道の乗り継ぎ駅。鉄印がもらえるのは終点の北条町駅です。

粟生駅から暫くはいい景色のなかを走ります。涼しい車内から緑豊かな外の景色を見ていると、それだけでリラックスできて、途中下車するのもいいかなと思っていただけ、気がついたら終点に到着していました。

今回は「キハ」という、関東から移設した旧型車両が目玉で、これに乗るためにわざわざ遠くから来るかたもいるとのこと。車内には関東で走っていたときの駅名表示が、そのまま残されていました。

北条町駅は、うちの近所と似た雰囲気、畑などもあるけど、新しいおうちやショッピングセンターもある感じの町で、姫路までのバスもあったりします。

最近できたっぽい和食やさんが駅徒歩三分ということで、暑いなか歩きたくない私たちにはちょうど良く、美味しいランチをいただいて、ついでに町並み…は暑いのでショッピングセンターなど散策して、駅で鉄印も無事ゲット! 今回はせっかくなので、井原鉄道とのコラボ鉄印も購入してしまいました。



(友達もつられて鉄印帳購入。仲間に引き入れてしまいました(笑))

待合室の展示を見て回ったりしていると、やって来た電車はまたまた同じ「キハ」。それ目当てのお客さんかと思われる、学生の団体も乗ってきました。

帰りは姫路に寄り道。観光案内所でマンホールカードがもらえるとのこと、寄り道すると、ボランティアガイドのかたに捕まって、姫路城の話をもっとしきり聞くことになるというのもご愛敬。

ここでのお目当ての姫路おでんは Google 君に聞いたところ、姫路の酒蔵さんがやっている居酒屋さんをおすすめしてくれたので、そちらへ。姫路の生姜醤油のおでんと、酒粕のたれのかかった白おでんを食べ比べすることができました。

姫路でお土産も買って、友達をあまりお疲れさせても行けないので、夕方には大阪へ戻ります。「また誘ってね」というお褒めの言葉もいただき、3 つめの鉄印旅も、無事終えることができました。

(たなべみか)

LIPが選ぶ

# 今月の五行歌

さなぎ

東海道五十七次  
憧れのブラタモリの  
ロケ地になるとは  
住んでて良かった  
枚方宿

賑やかだった長屋の

桑本明枝

子らも巣立ち

穏やかに老いた親たち

軒先に金色の吹き溜り

金木犀の花積もる

話を聞く

りえ

そうなんやね

でもねは

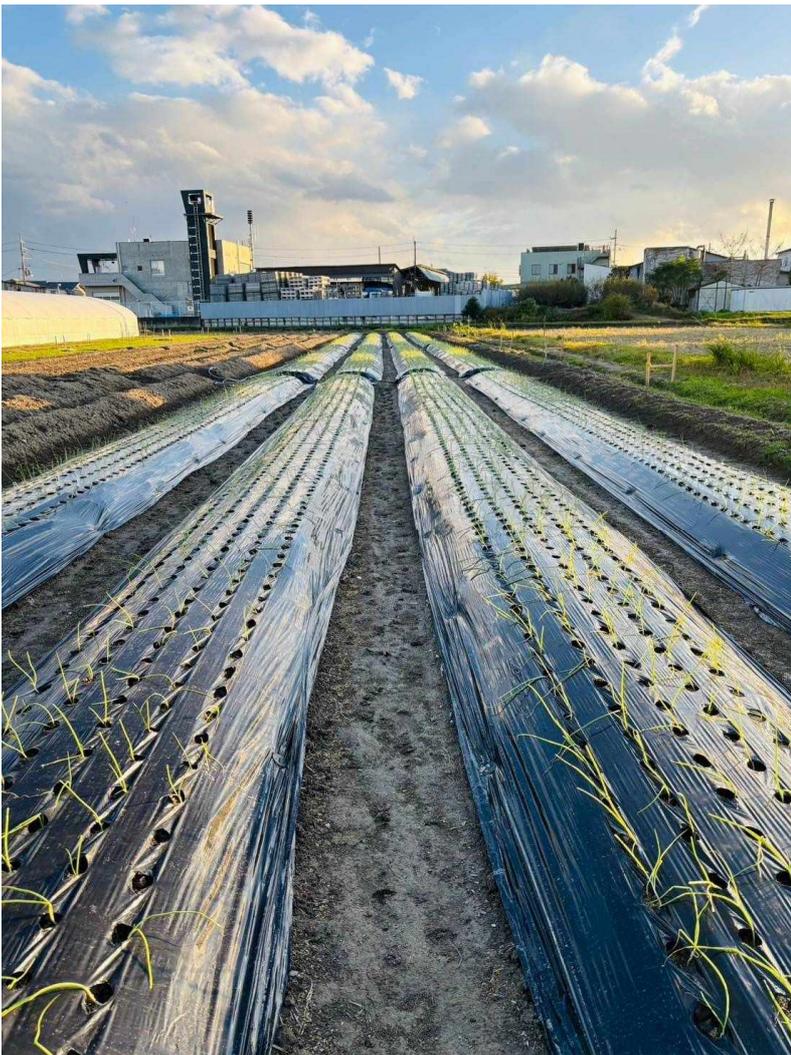
そつとのみこむ

少しいたい

五行歌(ごぎょうか)とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会が、8月を除き月一度歌会を行っています。  
(連絡先: akie\_toyotaka@gmail.com  
または 090-5893-5635・豊高)

No.40

## なんちゃって農業女子(笑)



植え付け後には、利用者様と一緒に「もみ殻」を一つ一つの穴に丁寧に投入していきます。

玉ねぎの苗の植え付けが完了しました!!  
約 10000 株

文・写真/へそくん

## 枚方にゆかりの本 「おかあさん だいきらい：って、言ってみたら 本当の声に気づいた」

少し筆が進んだ2023年12月、10年来の先輩に聞いてみました。

「自分の母親の愚痴本なんて、世に出していいのかなあ」

「みきちゃんのお母さん、娘の出版を素直に喜びそう」

「内容は超ネガティブなんだけど。そんな本を誰か読むのかね？」

「私、この間、本屋でそういう本を選んだよ。いいんじゃない？」

約3年の葛藤の末、ようやく自分を追い込んで、2024年5月に産声をあげた本です。

初めまして。でざき・みきと申します。枚方市在住の専業主婦、4人家族で小学生2人の子育て真っ只中です。

「母親」は大変ですよ。世間的に子育ての責任は、どちらかという「母親」側に押しつけがちで、何でもかんでも「母親」が背負わされがち。仕方ないような、やるせないような。でも、それをみなさん、なんとなく我慢なのか、経験なのか。子育てが終わった人は「そんなの大したことないわよ」って。子育て渦中の人は当たり障りなく「大変だよ。ほんと」って、各各で悶々とする日々。

生い立ちというものは、自分には当たり前のように、それは周囲から見れば獣道のような、隣の芝生は青いような。何なら自分もおぼろげで、意外とわかっていない「普通」の人生とは何なのか、幸せとは何なのか。私も母となり、原稿を書き上げてわかったことは、母は孤独。その寂しさを紛らわすために、子を自分の感情に巻き込む。そして、私は勝手に巻き込まれたのに、そう思い込んでいるのは私だけ。隣にいるかつての母は、実に飄々淡々としている。傷だらけでがんじがらめの人生に、心からの敬意と感謝を込めて、さよなら。私が約40年かけて自分と向き合って生きた証として、実は自分に贈る心の応援参考書としてまとめました。

出版のきっかけは、コロナ禍で苦境に立たされていた、大阪は本町にあるコンセントカフェ。クラウドファンディングで「あなたも自己紹介本を出版してみませんか？」というリターンを目にし、「どうせ応援するなら、それも面白いかな」と。そして、私が『夫の夢：写真館オープン』の応援を意図して、夫婦共著でスタートした出版案件。編集関係者でミーティングを何度も重ね、原稿を何回書き直してもしっくりこず。そこから何も書けないまま、苦悩の約2年間を過ごしました。

ある日、偶然受けたカウンセリングを皮切りに、悲しみの連鎖を断ち切ろうと立ち上がりました。これは、いま思えば必然の出来事でした。そこから、自分のことを書くことを再開し、冒頭の先輩の言葉にも背中を押されて一気に書き上げました。正直、ダメ元で出した原稿だったのですが、編集関係者からは「これです！ こういうのを待っていました！！ありがとうございます！！」と、まさかの展開。そこからはトントン拍子で2024年5月に電子書籍が完成しました。同年7月に紙書籍がまとまり、実物を手にしてようやく出版を実感し、今日に至ります。本当にありがとうございます。

本当にたくさんの方々のご縁とご協力を得て、今の私があるなあ実感しています。「だいきらい」とか言っちゃっているけれど、母には心から感謝できるようになりました。「なんかわからないけど、しんどい」と思っている方へ、少しでも気持ちがラクになるヒントになれば、この上ない喜びです。

とはいえ、まだまだ「この本を出して本当に良かったのだろうか？」と、まだまだ疑心暗鬼な自分がいます。そこで、毎週火曜日、拙著の感想インタビューを対面もしくはZOOMで実施することにしました（日時は応相談）。ぜひ、<https://forms.gle/Rom2Q5mMgCQBE56M7> へお申し込みもしくは [mikidezaki.m@gmail.com](mailto:mikidezaki.m@gmail.com) までご一報いただくと大変嬉しいです。ただし、感想インタビューは予告なく終了する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、書籍は、枚方市立図書館に寄贈予定で、登録されれば借りていただけるようにこれから動きます。

- ◇ 書名：おかあさん だいきらい：って、言ってみたら 本当の声に気づいた
- ◇ 著者：出崎三喜・出崎弘毅（でざきみき・でざきひろき）
- ◇ 発行者：アイカラーズ出版
- ◇ 発行日：2024年5月24日
- ◇ A5サイズ 128ページ
- ◇ 頒価 1,200円（著者サイン入り郵送希望なら+210円）  
※ご希望の方はこちらへ：[mikidezaki.m@gmail.com](mailto:mikidezaki.m@gmail.com)
- ◇ 電子書籍（500円）はAmazonで、紙書籍（1,485円）は、Amazon、楽天booksでも販売中

# イベント・サークル・ボランティア情報

今、福島は・・・子どもたちは・・・  
**やんちゃっ子 映画「決断」を観る会**

- ◆とき：12月15日(日) 13時30分～(13時閉場)
- ◆ところ：枚方市立楠葉生涯学習市民センター2階大集会室(京阪樟葉駅徒歩8分)
- ◆参加費：無料
- 上映のあと
- ◆お話し：森公明希子さん(福島から母子避難)
- ☆会場にはフクシマの写真(木村英生さん撮影)の展示もあります(会場の都合により整理券を発行します 参加ご希望の方は、事前に連絡ください)
- ◆主催：やんちゃっ子ひらかた
- ◆連絡先：090-6328-4006 佐藤

## 【枚方自閉症児(者)親の会】

- 自閉症だけでなく生きづらさを感じながら生きている人、その保護者や関係者の方々。どうぞフリートークでご参加ください。話すことにより、何か新しいことに気づけるかもしれません。
- ◆日時：12月9日(月) 10:00～12:00
  - ◆場所：ラポールひらかた 4階共用ルーム
  - ※連絡先 春名 072-397-0053 三浪 072-868-9929

## 放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」情報交換・交流会

- 子どものこと、学校のこと、高校進学、勉強や、家庭での時間の過ごし方について、気になることはないですか？ 保護者どうし、時には支援者を交えて、おしゃべり情報交換しましょう。
- ◇日時：12月13日(金) 10時30分～15時(11時～12時以外出入り自由)
  - 10時30分～11時 おしゃべり情報交換交流会
  - 11時～12時 身体まぐしのフェルデンクライス体験レッスン(要予約) バスタオルと水分持参
  - 12時～15時 おしゃべり情報交換交流会
  - ◇場所：ラポールひらかた 3階 和室
  - ◇参加費：11時からのレッスン参加者は、会員500円、一般1,500円。その他の時間は、無料。子どもさん連れでお越しください。
  - 問合せ：090-5893-5635(豊高・16時以降) c-k@love-dugong.net
  - ◇主催：放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」

## 冬のちょこっとクリスマスライブ

- ◇日時：12月8日(日) 13:30～15:30
- 沖縄エイサー、ウクレレ、バンド演奏など
- ◇場所：枚方市楠葉野田 野田区公民館
- TOMO'Nはいつもの赤鼻のトナカイ他、クリスマスに因んだ楽曲を予定しています。
- ※問合せ：由恵/080-2401-3080

応援ありがとうございます♪

# LIP 応援団

匿名希望さん

## LIP会計報告(前号以降)

金額(円)	内容
45,971	前号から繰り越し
3	利息
5,000	遺稿集販売
4,000	LIP応援団寄付
▼2,904	11月号印刷用紙代
▼500	ロッカー代
▼1,240	11月号印刷代
▼496	郵送代
49,834	計(次号へ繰り越し)

# STOP WAR NOW STOP WAR NOW

◆今年も渋柿を干して、干し柿づくりをしています。毎年、2週間くらいずつ日をあけて、3回くらいに分けて干して、あまり固くならないうちに食べられるようにします。今年も1回目を食べてみました。やはり美味しい。(w)

◆長く連載させていただいてきた、「STEMz マンガ文庫 蔵書紹介」が今回でいったん終了します。ライターのそふえさん、ありがとうございます。

◆私家本として制作した「天国への階段 鶴島緋沙子遺稿集」は少しずつ売れていってます。欲しい方は編集局まで連絡入れてください。

◆LIPは市民が書き、市民が読む地域密着型情報紙です。あなたも紙面に登場してみませんか？

イラスト

表紙：平井由恵



不登校・発達障害専門  
**はなたに塾**

ゆっくり、自分のペースで  
 一緒に学んでいこう！

090-1395-2101  
 hanamaruk0913@gmail.com  
 大阪府枚方市三矢町1-11  
 シャルム枚方25号室



**枚方コーレン**

デビューしちゃおう？

【ひらつーパートナー・ライト】

月額 **5,610円**

詳しくは **コチラ** ➡➡

